

富山県 中央植物園だより



ギンリョウソウ *Monotropastrum humile* (ツツジ科)

森林の林床に生育するツツジ科の植物。菌従属栄養植物と呼ばれるものの一つで、葉緑素を欠くため全体が白色で、自らは光合成を行いません。キノコ（ベニタケ類）の菌糸から栄養を得て生活しています。

植物写真展 「雨の日に。」 撮影 / 高尾 京子さん

これ、なーんだ? 「ケサランパサラン!？」



答え：クレマチスの果実

ケサランパサランは、都市伝説に登場する白くてふわふわした綿毛のような球体で、見ると幸せになれると信じられています。植物性のものもあるらしく、その正体としてはガイモやサカキカズラの種（の冠毛）が有力だとか…。個人的にはクレマチスの果実もいい線いっていると思うのですが、どうでしょうか。クレマチスには花弁はなく、花弁のように見えている部分のがくで、中心にたくさんのめしべとおしべが集まっています。花が終わるとめしべが伸びて羽毛状になり、写真のようなモジャモジャのボール状になります。

Reports イベント報告

第46回春のラン展

毎年エビネの花の時期に併せて開催している春のラン展。今年はエビネの開花が遅く、会期に間に合うか危ぶまれましたが、蘭協会会員の方々の努力により無事に間に合わせるこ



バリエーション豊かなエビネの展示

とができました。エビネの仲間は熱帯を中心に約100種あり、日本では約20種が自生しています。花の色は茶色が一般的ですが、突然変異や交配により白や黄色、緑など多様な花色が出現します。

花の美しさから自生のものはしばしば園芸目的で乱獲され、環境省や富山県のレッドリストでは絶滅危惧種に指定されています。美しいものを独り占めしたいという一部の人間のわがままで、消えていってしまうのは悲しいことです。



美しさゆえの悲劇…

近年では、種子を食害するランミモグリバエによる被害が全国的に深刻化してきており、自生エビネの減少にさらに追い打ちをかけています。(西村幸芳)

植物画講習会

植物画は単に植物を描いたものではなく、植物学的に精密に植物のつくりを観察しながら描いた作品で、なおかつ芸術的にも鑑賞価値のある作品を指します。本講習会は毎年、一般の方々に植物画に親んでもらうことを目的に「私の植物画展」に併せて開催しています。



工程ごとに描かれたお手本

2日間にわたって植物画の基礎を学べる内容になっており、これを機に友の会植物画部会に入会す

る方も少なくありません。今年も20名の参加者がありました。講師は友の会植物画部会の会員が務め、1日目はムギセンノウとマーガレット、2日目はヤマボウシを題材に午前中に鉛筆デッサン、午後に着彩という流れで講習が行われました。植物画で大切なのは、まずよく観察して見える通りに描くこと。参加者はしばしば植物とにらめっこすることになりました。(西村幸芳)



講師がひとりひとり丁寧に教えます

Topic 植物園裏話

ハクビシンの地下通路

2018年の冬、熱帯果樹室の果物が何者かに食い荒らされるようになりました。パパイヤにパイナップルなど苦心して実らせた果実がどんどんなくなります。犯人はハクビシン。



見つかった…

果実を食べつくし、空腹で弱っているところを目撃されました。そして翌年以降も量の差こそあれ食害は続きました。

2024年の春、たわわに実ったジャボチカバがやられた時、木に登れないようにする“ハクビシン返し”を思いつきました。ゴムマットに木材用の長いネジ釘を沢山打ち込み、木の根元付近に巻き付け

ました。おかげでジャボチカバは食害を受けなくなりました。

とはいえ元々はハクビシンの温室への侵入が原因。侵入経路は開いた窓と配管などを通すための地下通路だと推測しました。ハク



さあ、かかってこい!

ビシンは夜行性なので、窓は午後4時以降閉まるように設定。地下通路の入口にはハクビシン返しを設置しました。これまでの恨みを晴らすかのように打ち込んだネジ釘は500本を超えました。戦いの末、今冬以降は熱帯果樹室の果実は無事です。しかし、夏場は窓を閉めきれませんし、入園者の安全のためすべての果樹にハクビシン返しはつけられません。まだまだハクビシンとの知恵比べは続きそうです。(志内利明)

News 園内ニュース

楽しみながら植物園を歩こう

富山県中央植物園は、24.5ヘクタールの広大な敷地に屋外展示園と5棟の大型展示温室を備えています。園内には約6,600種類の植物があり、それぞれの特性に合わせて植栽・展示されています。さらに、これらのうち特色ある植物については解説板が設置されており、植物に関する専門的な情報を得ることができます。

植物園ではこの度、来園者の皆さんにゲーム感覚で楽しみながら植物に関する知識を深めていただきたいと思います。「植物ビンゴ」を始めました。解説板が設置されている植物を「植物ビンゴマップ」をたよりに探索しながら問題を解き、ビン

ゴを完成する仕組みとなっています。1回100円で参加でき、解説板をよく読むと誰でも正解にたどり着けますので、小さいお子さんから大人の方まで気軽に楽しんでいただけたらと思います。ゲームに参加した後はカプセルトイを回して景品をゲット!

予約不要で、随時インフォメーションで受け付けております。ぜひご来園の際は挑戦してみてくださいはいかがでしょうか。

(兼本 正)



当たりあり!何が出るかな?

Events 注目イベント

特別展「花を知る、花を楽しむ」

8月29日(金)～10月8日(水)

今年の特別展は「花」がテーマ!「植物園が花の展示をするのは当たり前では?」という声が聞こえてきそうですが…。皆さんはいつも目にしている身近な花が、どうしてその色、その形をしているのか、考えてみたことはあるでしょうか?虫に花粉を運んでもらうために色や形



花は何のために、誰のために進化するのか

を進化させた花もあれば、人が品種改良をして華やかな色形になった花もあります。そんな花の進化や、人とのかかわりを、身近な花を題材に紹介します。

(和久井彬実)

夜間開園「夕涼み植物園」

8月22日(金)～8月24日(日)

例年、夏に夜の熱帯植物探検などとして行っている夜間開園。今年は夕涼み植物園として、ひと味違うイベントになります。子どもたちが楽しめる植物園ならではのちょっとフシギな縁日や

食虫植物のお化け屋敷、夏にぴったりのスイーツや雑貨が集まるマルシェなど、夏祭り気分で植物園を楽しんでいただけるイベントが盛り沢山の3日間です。詳細は順次ホームページに掲載しますので、ぜひチェックしてくださいね。

(西村幸芳)



チラシはホームページで見られます

Note 園内さんぽ

可愛い?キモい?

6月ごろ、北池の東側のほりにあるアカガシワの木をふ



モリモリオ食事中的シラガタロウ

と見上げると、手のひらほどもある大きなフサフサのケムシが!びっくりして、「ちょっとお〜いるなら言ってよ!」とワケの分からない独り言を発してしまいました。調べてみると、どうやらヤマム

ガ科の蛾、クスサンの幼虫のよう。写真のものは終齢幼虫で、その見た目から俗にシラガタロウ(白髪太郎)と言われるそうです。ちなみに毛に毒はないのでご安心あれ。それにしても豪快な食べっぷりで、耳を澄ませるとプチプチと葉を食いちぎる音が聞こえるほど(ホントです、盛ってないです)。苦手な方はこの時期、アカガシワをまじまじと見ないほうがいいかもしれません…。

(西村幸芳)



秋に落ちてるカラの繭 通称スカシダワラ

Event Schedule

※イベント参加には入園料が必要です。高校生以下・70歳以上無料。
※日程・内容などが変更になる場合がございます。最新情報はHPでご確認ください。

企画展・特別開園

| | |
|----------------------|--|
| 8 1 (金) → 8 20 (水) | 環境省アクティブ・レンジャー 写真展 会場：サンライトホール |
| 8 29 (金) → 10 8 (水) | 特別展「花を知る、花を楽しむ」 会場：サンライトホール |
| 8 22 (金) → 12 24 (日) | NEW 夜間開園「夕涼み植物園」 17:00～21:00 夜間入園料：300円 |

月例行事

植物ガイド

第1, 2, 4, 5日曜日：ボランティアと歩く植物園
第3日曜日（4月は第4日曜日）：園長と歩く植物園
13:30～14:00 集合場所：サンライトホール

ボタニックガーデンクラブ

事前申込・大人向け体験講座

| | |
|-----------------|--|
| 9 13 (土)・14 (日) | 草木染「自然な彩を楽しむ」 会場：ドリアスホール 13:30～15:30 申込用QRコード |
|-----------------|--|



講演会・講習会・観察会

| | |
|---------------------|--|
| 7 18 (金) → 8 20 (水) | 夏休み子ども企画「森のクラフト」 会場：サンライトホール 参加費：1作品200円(年齢制限なし) ※8 3 (日) は午前のみ |
| 8 1 (金) → 13 (日) | 夏休み子ども企画 「オオオニバスに乗ってみよう」 会場：北池 各日 午前9:30～ 午後13:30～ |
| 8 29 (金) | 特別展オープニング解説 会場：サンライトホール 13:30～14:30 |
| 9 7 (日) | 第33回 TOYAMA 植物フォーラム 「花を知る、花を楽しむ」 会場：研修室 13:30～16:00 ※要申込 |

緑のコンサート

5|31, 9|20, 10|25, 11|15 13:00～
会場はサンライトホールまたは屋外（天候によります）



質問大募集

休園日の植物園ってどうなってるの？職員ならではの植物園の楽しみ方を教えて！など当植物園について気になっていること、聞いてみたいことなどをお寄せください。あなたの疑問が本誌記事で取り上げられるかも!? 本文に質問内容とペンネームを明記のうえ、宛先に「植物園だより係」と書いて本ページ下方の住所までハガキでお送りください。たくさんのご応募をお待ちしています！

入園案内

[開園時間] 2月～10月 9:00～17:00 (入園は16:30まで)
11月～1月 9:00～16:30 (入園は16:00まで)

[休園日] 毎週木曜日
4月第1, 2とGW、お盆、祝日の場合は開園
年末年始(12月28日～1月4日)

[入園料] 大人630円 / 団体(20名以上)500円
冬期(12月～2月) 一人420円 / 団体340円
年間パスポート(購入日より1年間有効)2,600円
高校生以下・70歳以上は通年無料

[交通案内]

バス：富山地鉄バス JR 富山駅から「ファボーレ経由萩の島循環」
または「ファボーレ経由速星行き(休日のみ)」に乗りし、
「中央植物園口」下車、徒歩約12分(約700m)
車：富山市中心部より約15分
北陸自動車道富山ICより約15分
JR 速星駅より約8分

団体向け学習プログラム

学校の遠足やPTA活動等ご利用の方向けに、植物園ならではの学習プログラムを提供しています。ご希望日の1週間前までに、学習プログラム申請書をご提出下さい(FAX可)。人数や時間、ご希望のコースについてはご相談ください。※1団体につき1つのプログラムに限らせて頂きます。

- ① ウォークラリー 植物を探せ！
写真と地図をヒントに、園内で植物を探すゲームです。
・対象：年長～小学生
・所要時間：30分～1時間半(コースによって異なります)
- ② 木の実の工作
どんぐりや木の実、葉を材料に工作を楽しめます。
・対象：年長～小学生
・所要時間：2時間
- ③ ドリアス講座
植物の面白さをスライドでわかりやすく解説します。
・対象：年長～一般(10種類の講座からお選び頂けます)
・所要時間：30分程度(講座によって異なります)

富山県中央植物園だより No.116

令和7(2025)年6月25日発行
編集・発行/富山県中央植物園
(指定管理者：公益財団法人 花と緑の銀行)
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42 TEL 076-466-4187



公式HP



公式Instagram



植物多様性
保全拠点園



JAPAN
MUSEUM
登録博物館